

避難器具の概要表

防 火 対 象 物 の 概 要								
名 称				所 在 地				
用 途				階数 (階層)	地上	階 地下	階 塔屋	階
主 要 構 造 部	耐火構造・準耐火構造・その他 ( )					延べ面積	m <sup>2</sup>	
避 難 器 具 の 概 要								
階 別	床 面 積	用 途	収容人員	無窓該当	階段の数	減 免 数	設 置 数	避難器具の種別 (個数)
								は ( )・袋 ( )・緩 ( )
								は ( )・袋 ( )・緩 ( )
								は ( )・袋 ( )・緩 ( )
								は ( )・袋 ( )・緩 ( )
								は ( )・袋 ( )・緩 ( )
								は ( )・袋 ( )・緩 ( )
								は ( )・袋 ( )・緩 ( )
								は ( )・袋 ( )・緩 ( )
								は ( )・袋 ( )・緩 ( )
避難器具の種別								
型 式 番 号	第 ~ 号		第 ~ 号		第 ~ 号		第 ~ 号	
設置場所の状況 (用途、構造等)								
開口部の大きさ 縦 × 横 (cm)	×		×		×		×	
腰 高 (cm)								
操 作 面 積 (m <sup>2</sup> )								
固 定 位 置								
固 定 方 法								
固定部材にかかる 設計荷重 (kN)								
固定部材の許容 応力 (kN)								
その他								

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 選択肢の併記してある欄は、該当事項を○印で囲むこと。
- 3 避難器具の種別 (個数) 欄は、「は」は金属製避難はしご、「袋」は救助袋、「緩」は緩降機を表し、避難器具の種別の後の ( ) 内にそれぞれの種別ごとの設置個数を記載すること。